

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費  
2項 企画費  
3目 交通対策費

交通政策課 (内線: 7099)  
(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
国内航空便 利用促進費 (もっと飛ばそう!とっとり)	23,981	13,981	10,000				23,981	
トータルコスト	37,697千円 (前年度28,894千円) [正職員: 1.7人 非常勤職員: 0.1人]							
主な業務内容	国内航空路線の利用促進活動の実施など							
工程表の政策目標(指標)	・東京便の増便・機材の大型化、名古屋便の利用促進・増便 (便数・搭乗者数: 鳥取-東京便 5便・400千人、米子-東京便 6便・500千人、 米子-名古屋便 2便・55千人)							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

県内空港に就航する国内航空便の充実を図るため、鳥取空港の利用を促進する懇話会及び米子空港利用促進懇話会が行う事業等に要する経費の一部を負担する。  
特に、鳥取・米子-東京便の増便、米子-名古屋便の路線維持・2便復活等を目指して、利用促進の充実強化を図る。

2 主な事業内容

区分	経費	内 容
鳥取・米子空港の利用促進	15,595	鳥取空港の利用を促進する懇話会及び米子空港利用促進懇話会が行う航空便の利用促進事業に要する経費の一部を負担する。 ( 県負担金内訳 (利用促進) 県1/2 15,000千円 ) ( 一 般 ) 定 額 595千円 ) 【主な事業内容】 ○県内外での路線のPR ・観光情報誌等による路線や観光のPR ・時刻表の作成・配布 ・空港まつり、空港イベントでの広報活動 ○旅行会社への商品造成の働きかけ等 ・ツアー商品への支援等 ・新聞等による旅行商品の広告支援 ・首都圏等の旅行会社への宣伝活動 ○空港からの二次交通の運行支援
(新)搭乗率向上促進 キャンペーンPR事業	7,500	エアラインとタイアップした利用促進キャンペーン等のPR委託経費
全国地域航空システム推進協議会負担金	135	地域航空システムの調査研究等を行う協議会への負担金
事務費	751	
計	23,981	

3 これまでの取組状況、改善点

路 線	【指 標】		【現 状】(H20)	
	便 数	搭乗者数	便 数	搭乗者数
鳥取-東京便	(H23) 5便	(H30) 400,000人	4便	305,265人
米子-東京便	(H23) 6便	(H30) 500,000人	5便	402,021人
米子-名古屋便	(H30) 2便	(H30) 55,000人	2便(H21.4から1便)	46,506人

- ・東京便の増便や名古屋便の維持・2便復活、運賃低廉化、ダイヤ改善等の利便性向上に向けて、継続的に国、航空会社に対して要望活動を行っている。
- ・羽田空港の発着枠の拡大を見据え、増便の働きかけを強化するため、搭乗率向上対策として9月補正予算により、航空会社とのタイアップキャンペーンを実施している(12月~2月)。

[参考] 利用促進団体の概要

団 体 名	鳥取空港の利用を促進する懇話会	米子空港利用促進懇話会
会 長	鳥取商工会議所会頭	米子商工会議所会頭
事 務 局	鳥取商工会議所、鳥取市、県	米子市
主な構成団体	鳥取県、地元市町村(兵庫、島根県の市町村を含む)、商工会議所、旅行業団体、観光関係団体等(それぞれ28団体で構成)	